第１９回とちぎアビリンピック競技課題
木工　競技課題

本競技は、本年度に限り、一堂に会しての競技を実施しません。
下記の課題内容に沿って各所属先で作品を制作、大会事務局（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援栃木支部）に提出してください。
資材は支給いたします。

【提出期限】7月27日（月）

※公正公平を期すために、作品製作時の写真を撮影し、提出してください。
（撮影要領は下記にあります。）

※課題制作要領に従い、厳正・公正に実施されるようお願いいたします。

（課題制作時に事務局職員が立ち会う場合もあります。）

次の注意事項及び仕様に従って、課題図に示す作品を製作しなさい。

１．　競技時間　３時間（厳守）

２．　注意事項

（１）使用工具及び使用機械は、別紙使用工具一覧表に示すものに限る。

（２）支給材料の寸法及び数量は、「４．支給材料」に示すとおりである。

（３）支給材料は材料の欠陥のない限り、再支給しない。
（欠陥があった場合は事務局に申し出てください。）

（４）競技中の服装は、競技に適したものであること。

３．　仕様

（１）墨付け用の型板、位置決め用の定規など、「使用工具一覧表」に示していない型板、ジグ類は使用できない。

（２）切断・穴あけ等の位置決めや毛引きは、競技者自身が行うものとする。

（３）三枚組接ぎで、ダボ埋め用の穴あけは、競技者自身が卓上ボール盤を使用して行う。

（４）底板部分の段欠きは、所属先の指導員がハンドルータを使用して行い、角さらいは競技者自身が行うものとする。

（５）指定された面取り以外は、すべて糸面取りとする。

（６）箱部分の三枚組接ぎの組立、ダボ埋め込みには接着剤を用いる。

３.写真の撮影について

次の写真を撮影し提出して下さい。

（１）作業開始前

競技者本人・資材・作業開始時刻が確認できる時計が写っている写真１枚

（２）作業中

① ノコギリを引く目安としてのけびきを行っている場面

② 三枚組接部分のダボ穴の位置決めをしている場面

③ 底板をはめる溝の角さらいをしている場面

④ ボンドと釘で組み上げた後の、ハタガネ(クランプ)もしくは平ひもで固定している場面

以上、作業の様子がわかる写真４枚

（３）作業終了後

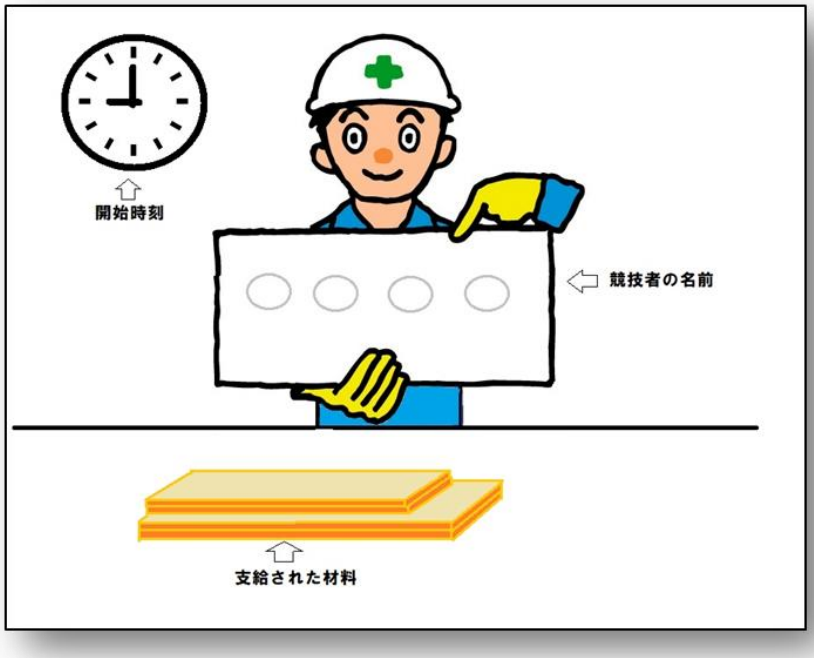
競技者本人・作品・作業終了時刻が確認できる時計が写っている写真１枚

（４）作品

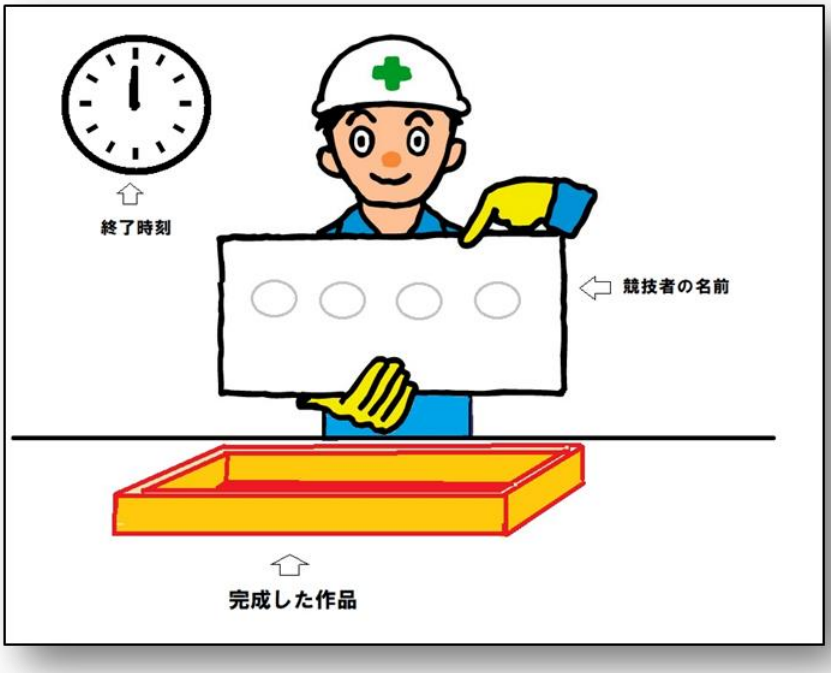
上面・下面・側面（４面）の写真６枚

写真の裏側に参加者の所属・氏名を記入してください。

作業開始前の写真の例



作業終了後の写真の例



【木工種目使用工具と支給材料一覧表】

１．競技者が用意するもの

NO.	品名	規格・寸法（㎜）	備考
1	片歯のこぎり	２４０～２７０	替刃式も可
2	平(手)かんな	中・仕上げ	
3	突きのみ	９～２４	
4	ものさし	６００程度	さしがね・スケール（鋼尺） コンベックススケールも可
5	直角定規（スコヤ）	２００程度	大矩又は木矩も可
6	玄のう	小・中	
7	釘締め		
8	釘抜き	バール（長さ 150㎜ 程度）	
9	打ちあて	クランプ用のあて木にも使用	
10	きり(手もみ)	四つ目きり	釘打ちの位置決め用
11	毛引き		２本
12	鉛筆		墨付け用
13	消しゴム		
14	のりべら		ブラシも可
15	作業台(立式)	１８００×９００×７００程度	
16	L 型クランプ	１５０㎜　　２本組 ２１０㎜　　２本組	
17	卓上ボール盤	５．８㎜ 木工錘付	
18	ボンド刷毛	竹柄	
19	ハンドルータ	ルータビット８．０㎜	
20	平ひも	２０×１５００	
21	バケツ	１０リットル	
22	ウエス（綿）又は 綿タオル		

2. 支給材料

No.	部品名	寸法（mm）			数量	備考
		長さ	幅	厚さ		
1	箱側板	360	75.5	12.3	2	スプルース
2	箱側板	260	75.5	12.3	2	スプルース
3	箱底板	341	241	4	1	シナ合板（両面仕上げ）
4	鉄釘	25			12	平頭
5	鉄釘	15			16	平頭（底板打ち用）
6	ダボ	100	φ6		2	
7	接着剤				若干	木工ボンド 酢酸ビニール樹脂 エマルジョン